

2026 年度東京都女子アイスホッケーリーグ戦
兼 第 46 回全日本女子アイスホッケー選手権Cグループ東京都予選会
大会要項 v1.0

1. 大会名称 2026 年度東京都女子アイスホッケーリーグ戦 兼
第 46 回全日本女子アイスホッケー選手権大会Cグループ東京都予選会
2. 主催 公益財団法人東京都アイスホッケー連盟
3. 期間 2026 年 8 月 8 日(土)～
4. 会場 ガйдードリンコアイスアリーナ
〒202-0021 東京都西東京市東伏見 3-1-25
Tel: 042-467-7171
5. 大会事務局 公益財団法人東京都アイスホッケー連盟
〒202-0021 東京都西東京市東伏見 3-1-25
Tel:042-467-8282 E-mail: tihf@tihf.gr.jp
6. 参加チーム SEIBU プリンセスラビッツ、Tweedie Crest、日本体育大学、
東京女子体育大学、シルバーシールズ(5 チーム)
※日本体育大学 vs シルバーシールズ戦は、第 46 回全日本女子アイスホ
ッケー選手権大会Cグループ東京都予選会を兼ねる
7. 参加資格 1)選手およびスタッフは、(公財)東京都アイスホッケー連盟所属の
女子チームに登録し、公益財団法人日本アイスホッケー連盟に登録
している。
2)出場選手は中学生以上とし、高校生以下の選手については各チームで
保護者の承諾を得る。
8. 選手登録 大会参加申込み期限[2026 年 7 月 10 日(金)]までに登録を完了しな
ければならない。追加選手については、追加申し込み期限[2026 年 11
月 30 日(金)]までに登録を完了しなければならない。
9. 代表者会議 実施しない。必要事項については、E-mail、オンラインで協議・確認する。
10. 閉会式 実施しない。
11. 表彰 チーム表彰 優勝・準優勝・3 位
個人表彰 各チームから 1 名ずつのベストプレイヤー賞(監督推薦)
※表彰は、大会が中止・途中打ち切りになった場合は、行わない。

12. 参加申し込み期限 以下を①女子委員会②連盟事務局宛てに E-mail にて送付する
(1 通のメールに 2 つの宛先を指定すること)。
1) **2026 年 7 月 10 日(金)までに**
(1) 指定の参加申込書
(Excel、押印省略可。PDF に変換しないこと)
(2) **2026 年 7 月 31 日(金)までに**
スポーツ傷害保険加入証書の写し(PDF)、加入者明細の添付必須。
※追加選手の申し込みは、2026 年 11 月 30 日(月)まで

13. 大会費

チーム	SEIBU プリンセスラビッツ Tweedie Crest 東京女子体育大学	日本体育大学 シルバーシールズ
大会参加費	20,000 円	20,000 円
試合費	184,000 円	185,000 円 (※全日本女子 C 東京都予選会の VSS 費用含む)
計	204,000 円	205,000 円

14. 振込み期限 **大会参加費および 8 月実施の試合費 2026 年 8 月 7 日(金)**
9 月以降の試合費 2026 年 11 月 30 日(月)

15. 振込先 銀行名: 東京三協信用金庫 東伏見支店(店番号 016)
口座名: 公益財団法人東京都アイスホッケー連盟
ザイ)トウキョウトアイスホッケーレンメイ
口座番号: 0104277
預金種目: 普通預金
※振込みの際は、振込人名義に必ず「チーム名」をつけてください。

16. キャンセル規定

- 試合を棄権したチームに返金はない。
- 一方のチームが試合を棄権する場合、対戦チームは、その時間帯を利用して、練習試合を組むか単独での練習を実施してください。
- いかなる理由でも大会参加費の返金を行わない。
- 原則、リンク枠のキャンセルは行わない。

17. 試合映像撮影・配信

- 本大会では試合の映像撮影および映像配信を行うことがある。
本大会に参加する全ての選手、スタッフ、競技役員等は、本大会参加中の肖像の管理を(公財)東京都アイスホッケー連盟に委ねることに本大会参加をもって承諾したこととする。
- AIカメラ(公財)日本アイスホッケー連盟による動画配信について:
本大会における試合のテレビ・ラジオ放送権、インターネットその他一切の公衆送信を行う権利(公衆送信権)は、(公財)日本アイスホッケー連盟に帰属することとし、公衆送信権を(公財)東京都アイスホッケー連盟に許諾することがある。

18. 個人情報の取り扱い

- 個人情報を含む競技結果(記録)、所属と個人を識別するために必要な情報、および写真・映像は、次の方法等で公表することがある。大会申込書が提出された時点で、本取り扱いに承諾を得たものとする。
 - 当連盟ウェブサイト・SNS 等への掲載
 - 大会プログラムへの掲載
 - 会場内外の掲示、場内アナウンスによる紹介等
 - 報道機関への提供
 - 当連盟報告書等への掲載

19. その他

- 大会期間中であっても、やむを得ない事情により、大会要項、競技要項の変更、特別な条項が追加される可能性がある。

競技要項

20. 競技方法・競技時間

- 1 回戦総当たりのリーグ戦で行う。
- 全試合正味 15 分(ストップタイム)×3 ピリオドで行う。
- 練習・インターミッションは各 5 分とする。
(整氷→練習→P1→インターミッション→P2→インターミッション→P3)。
- ホーム・ビジター制度を適用する。試合前のパックスにより、ホーム・ビジターを決定する。
仮ホームチーム(2025 年度同大会の上位チーム、対戦表の左側)は、本部席から向かって左側のベンチに入る。
- 10 点差以上の得点差がついた時点で、次のフェイスオフ以降、ランニングタイムとする。
 - 1) 点差が縮まった場合でも継続する。
 - 2) 次の場合は時計を止めるものとする。
 - a) 得点時一旦止めるが、レフェリーがオフィシャルに報告にきた時点で、直ちにスタートする。
 - b) 反則発生時一旦止める。次のフェイスオフでスタートさせる。
 - c) レフェリーの指示があったときに時計を止める。次のフェイスオフでスタートさせる。
 - d) タイムアウト時、時計を止める。タイムアウト終了後、直ちにスタートさせる。
 - 3) 反則時間終了時にプレーが止まっていたら、その選手は次のフェイスオフでパックがドロップされるまでペナルティベンチから出られない。
- 1 試合につき、両チームそれぞれ 1 回のタイムアウト(30 秒)を取ることができる。

21. 順位決定方法

勝ち点制を採用する。勝ち点は以下の通りとする。

勝ち	引き分け	負け
3	1	0

2 チーム以上の勝ち点が同点の場合は、以下の順に順位を決定する。

- 1) 当該チーム間の試合で得た勝ち点が多いチームを上位とする。
- 2) 当該チーム間の試合の総得点数から総失点数を引いて、その差の大きいチームを上位とする(得失点差)。
- 3) 当該チーム間の試合の総得点数が大きいチームを上位とする(得点差)。
- 4) 全試合の総得点数から総失点数を引いて、その差の大きいチームを上位とする(得失点差)。
- 5) 全試合の総得点数が大きいチームを上位とする(得点差)。
- 6) 2025 年度東京都女子アイスホッケーリーグ戦での上位チームを上位とする。

＜第 46 回全日本女子アイスホッケー選手権大会Cグループ東京都予選会を兼ねる日本体育大学 対 シルバーシールズ戦について＞

＊引き分けとなった場合は、直ちに「6) 2025 年度東京都女子アイスホッケーリーグ戦での上位チームを上位とする」を適用する。

＊いずれかのチームが試合を棄権した時点で、当該チームを東京都代表選考の対象から除外する。

22. 競技規則

- 1) 本大会の競技規則は、公益財団法人東京都アイスホッケー連盟が定める補助規則(第23 項)を除き、原則として国際競技規則および公益財団法人日本アイスホッケー連盟が定める規則によるものとする。
- 2) 第 46 回全日本女子アイスホッケー選手権大会Cグループ東京都予選会を兼ねる日本体育大学 対 シルバーシールズ戦のみ、ビデオゴールジャッジサポートシステム(VSS、ゴール裏に設置したカメラ1台)を採用する。ただし、コーチチャレンジは採用しない。チームからのアピールによる確認は行わない。

23. 補助規則

- 1) 試合を棄権するチームは、速やかに、遅くとも試合開始日前日の 17 時まで、その理由を 1)女子委員会に連絡し、2)連盟まで文書で届け出なければならない。
試合を棄権した場合、0 対 15 で不戦敗とし、別に定める規定により処分を科す。
ただし、感染症等による試合棄権の場合は、0 対 15 で不戦敗とするが、処分は科さない。
- 2) 連盟未登録選手が出場した場合、当該試合は没収試合とし、不戦敗とする。
- 3) オールメンバー表は、試合開始 30 分前までにオフィシャルに提出する。
- 4) オールメンバー表に記載されていない選手は試合に出場できない。発覚次第、退場とする。当該選手がポイント(ゴール・アシスト)をあげても無効とする。
当該選手がペナルティをおかした場合は、代替選手がそのペナルティを受けるものとし、当該選手は退場とする。背番号の間違いは発見次第、直ちに修正すること。ポイントは認められ、出場可能とする。
- 5) 試合実施に必要な最低人数は 6 名(ゴールキーパー1 名とスケーター5 名)とする。試合開始時まで最低人数に満たない場合、当該チームは試合を棄権したものとみなし、不戦敗とする(棄権については 23-1 項を参照)。
両チームが人数に満たない場合は、両チームとも -15 点とし、両チームを不戦敗とする。
- 6) オールメンバー表に記載されていないスタッフはベンチ入りできない。
- 7) ベンチ入り選手は 22 名以内(ゴールキーパーは 2 名以内)とする。スタッフは 8 名以内(最低 1 名)とする。
- 8) 選手は、統一したユニフォームとストッキングを着用し、ヘルメットとパンツは同色を着用しなければならない。
- 9) プレーヤーは、顔全面を覆うフルフェイスマスクの付いたヘルメット、ネックガード、マウスガードを着用しなければならない。
ヘルメットは、付帯のパーツを正しい位置に装着しなければならない。顎紐と顎の間のゆとりは、指 1 本分のみとする。
- 10) ゴールキーパーは、ネックガード、および、パックおよびスティックが貫通しないマスクを着用しなければならない。
- 11) ユニフォームは完全にパンツの外側に着用し、タイダウストラップで常にパンツに適切に固定しなければならない。
- 12) 原則として頭髮はヘルメットの中に収めるものとする。ヘルメットに収まらない場合は、背番号にかからないように結ぶか、まとめる。
- 13) 選手の怪我防止のため、選手の用具やユニフォームが正しく着用されているかを確認するため、下記の手順を取る。
試合開始前の整列時、正しく着用していない選手に対しては、直ちに改善することを指示し、チームに警告を与える。
試合開始後、正しく着用していない選手に対しては、ミスコンダクト・ペナルティを科す。

これはレフェリーの判断によりペナルティを科すもので、チームからのアピールは受け付けない。

- 14)「お守り」をつける場合は、パンツ等の中に縫い付けて着用する。防具等の外につけることはできない。
- 15) 危険防止のため、ベンチ入りする選手は試合中、フルフェイスマスクの付いたヘルメットを着用する。
- 16) ペナルティベンチ内ではヘルメットを着用し、出場 30 秒前まではベンチに座っていること。味方への応援を含む一切の私語を禁止する(レフェリー以外が別途処分を科すことがある)。
- 17) オフィシャル当番チームは、9 名で担当する。(ゴールジャッジ 2 名、ペナルティアテンダント 2 名、タイムキーパー1 名、ペナルティタイムキーパー1 名、スコアキーパー1 名、アナウンス 1 名、シュートカウント 1 名)。試合開始 30 分前に集合し、準備を行う。当番を代行してもらうことは極力避ける。やむを得ず代理を立てる場合は、試合開始日前日の 17 時までに、代理の人員(チーム)とその理由を 1) 女子委員会に連絡し、2) 連盟まで文書にて届ける。
当番に遅刻・欠席、欠員した場合は、24 項に定める処分を科す。
- 18) 試合には、当連盟レフェリー委員会より、レフェリー1 名、ラインズパーソン 2 名を派遣する。
- 19) 試合時のツバ吐き行為は、いかなる理由があってもゲームミスコンダクト・ペナルティを科す。一旦口に入れた水等を吐き出す行為もツバを吐く行為と同様にみなす。

24. 注意事項

試合・オフィシャルの遅刻、欠席、欠員、棄権が発生した場合、連盟の規約に違反した場合、JIHF リスペクト憲章に反する行為を行った場合は、女子委員会ならびに審議委員会にて協議し、処分を科す。

25. 保険の加入

大会参加チームは必ずスポーツ傷害保険等に参加する(保険証書の PDF を提出する。大会要項 12 項を参照)。

選手・スタッフ等の移動を含む本大会に係る事故、負傷、盗難等について、本連盟は責任を負わない。各チームが責任を持って対処する。

26. 試合中の負傷・傷害

試合中に選手が負傷した場合、応急処置は行うが、その後は各チームおよび個人の責任とする。選手の負傷について、チームは所定の「傷病報告書」に記載し、女子委員会に提出する。

27. 感染症等対応のルール

- 1) チーム内に感染症等の陽性者、体調不良者が発生した場合は、医療機関、保健所、自治体等の指示に従い、活動を自粛する。
- 2) 施設利用上の注意
 - 試合後、ベンチ内や更衣室にゴミ(ドリンクのボトルや使用済みのティッシュ等)を放置しない。忘れ物がないか確認する。ゴミは施設内のゴミ箱やリサイクルボックスに、正しく分別して入れる。
 - 更衣室のシャワー利用を禁止する。
 - その他、連盟・施設からの指示・注意事項を守ること。